

コミュニケーション力の向上を図る取り組み ～学校図書館司書を活用した図書館運営を通して～



名古屋市立滝ノ水中学校 校長 新田智子

〒458-0021 名古屋市緑区滝ノ水三丁目602番地
TEL052-895-7001 FAX052-895-5264
URL <http://www.takinomizu-j.nagoya-c.ed.jp>

事業のねらい

本校では、1・2年生が毎日朝読書に取り組んでいます。さらに、読書ゆうびんや外部講師を招いた「読み聞かせ」、ブックレビューなど様々な読書活動に取り組んできました。ただ、本校は生徒数が多く、学校図書館一室だけで、全校生徒に十分活用させることは難しい状況です。そこで、学年ごとに教室付近に配置された書棚を学校図書館司書の力を借りて整備し、活用できるようにしました。読書環境や読書活動を充実させることによって、生徒間のかかわりを深めてコミュニケーション力の向上につなげたいと考えました。

事業の内容

① 資料等を提示した意見交換や発表活動

書画カメラを活用して、自分の考えの根拠となる資料や、考えの要点をまとめたものを提示して、話し合いや発表が効果的に行われるようにしました。

② 読書活動の充実

図書館教育担当教員・学校図書館司書を中心に、読書環境をより一層整備するとともに、図書委員会の企画を通して、読書にかかわる生徒間の交流を図りました。

③ 学年文庫の整備

各学年の教室近くにある図書コーナーに、各教科等の学習内容に関連した図書を随時配架することで、学習の発展に生かすことができました。

④ 読書にかかわる生徒間の交流

読書ゆうびん作品を学校図書館前に掲示して、生徒間で本を紹介させ合ったり、感想を交流させ合ったりして、読書にかかわるコミュニケーションを図らせる機会を図書委員会で企画しました。



本の分類番号に本のジャンル、そのジャンルにちなんだ写真やイラストを付けた掲示物



「職業調べ」で使いやすい本棚

事業の成果

○ 視聴覚機器を活用した授業

書画カメラとプロジェクターを活用して、資料提示や映像を使っての話し合いや発表が容易になりました。また、図書館にある社会科や理科に関する資料を提示して、みんなで同時に同じ資料で授業を行うことができました。



書画カメラや液晶プロジェクターを使った授業の様子

○ 学校図書館司書と図書委員会の取り組み

学校図書館司書と連携して、図書委員会が企画した取り組みによって読書を楽しむ活動が増えました。一つは「読書ゆうびんコンテスト」です。みんなに紹介したい本をイラストと文を使って表現した「読書ゆうびん」を募集し、作品を図書室前に掲示しました。紹介された本はすぐに手に取れるように整理されています。もう一つは、「読書ビブリア」です。参加者が自分の選んだ本について5分で熱く語り、それについてディスカッションするという内容です。参加者全員で、どの本を一番読みたくなったかを投票しました。



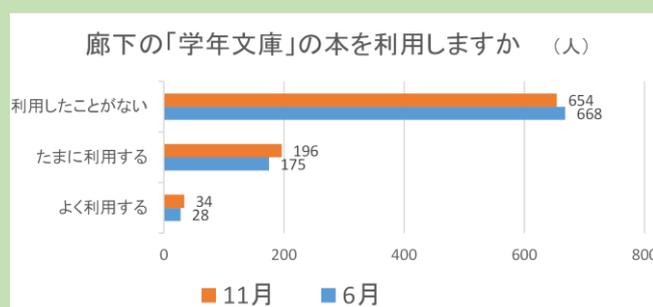
左：読書ゆうびん（シール貼付のものが優秀作品）
右：読書ゆうびんで紹介された本を集めた本棚



○ 本を読む生徒の増加

校内の廊下9カ所に学年文庫を設け、貸し出しは生徒の自主管理に任せています。各学年で行う総合学習に合わせて、職業に関する本を置いたり、美術室等の廊下には美術に関連した図書を置いたり、学習の発展に生かすようにしています。

全校アンケートの結果、学年文庫を利用する生徒が特に1年生で増えました。まだ、利用したことのない生徒も多いので、今後も関心をもってもらうように働きかけていきたいと考えます。



学年文庫



貸し出しができるように、貸し出しノートと筆記用具を本棚の横に設置

事業のまとめ

今年度、学校図書館司書と連携し、図書館の環境整備や図書委員会の活動への支援を行ったことによって、「図書館を利用しやすくなった」「読書に興味があった」などの声を聞くことができました。また、大規模校であるため授業での図書館利用が難しい側面もありますが、校舎内各所に図書コーナーを設けたことで、気軽に本を手にとれる環境作りを工夫しました。今回整備した環境を生かして来年度以降も、学習や読書活動の充実を図り、図書館や本を活用したコミュニケーション力の向上につながっていくように努めていきたいと考えます。